

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	約6年2カ月間（2010年11月26日～2017年1月24日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	ベビーファンド	1. ブラジル・リアル建てのブラジル国債 2. ダイワ・ブラジル中小型株式マザーファンドの受益証券
	ダイワ・ブラジル中小型株式マザーファンド	1. ブラジルの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（DR（預託証券）を含みます。上場予定および店頭登録予定を含みます。） 2. ブラジル企業のDR（預託証券）
ベビーファンドの運用方法	①主として、ブラジル・リアル建てのブラジル国債および、マザーファンドを通じてブラジルの中小型株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）（※）に投資することにより、信託財産の成長をめざします。 ※中小型株式とは、時価総額を基準として、イタウ・アセットマネジメントが独自に分類した中型株式および小型株式をさします。 ②設定当初の債券と株式への投資比率は概ね65：35とします。その後、為替や株価の値動き等により投資比率は変化します。 ③ブラジル国債への投資にあたっては、償還までの期間が当ファンドの信託期間に近い銘柄を中心とします。 ④外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。 ⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
マザーファンドの運用方法	①主として、ブラジルの中小型株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）に投資することにより、信託財産の成長をめざします。 ②運用にあたっては、以下の方針を基本とします。 イ. ブラジル経済の内需拡大の恩恵を受けると期待される企業、および積極的な経営戦略による成長が期待される企業等の株式を投資対象銘柄として選定します。 ロ. 個別企業の財務状況、成長性、株価バリュエーション、流動性等を総合的に勘案してポートフォリオを構築します。 ③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、イタウ・ウニバンコ銀行の運用部門であるイタウ・アセットマネジメントの助言を受けます。 ④株式の組入比率は、通常の状態 で高位に維持することを基本とします。 ⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
組入制限	ベビーファンドの株式実質組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ツインアクセル
(ブラジル国債&ブラジル中小型株式)
≪2017-01≫

運用報告書(全体版)
第6期
(決算日 2016年11月25日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ツインアクセル（ブラジル国債＆ブラジル中小型株式）≪2017-01≫」は、このたび、第6期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託
Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）
<http://www.daiwa-am.co.jp/>
<4769>

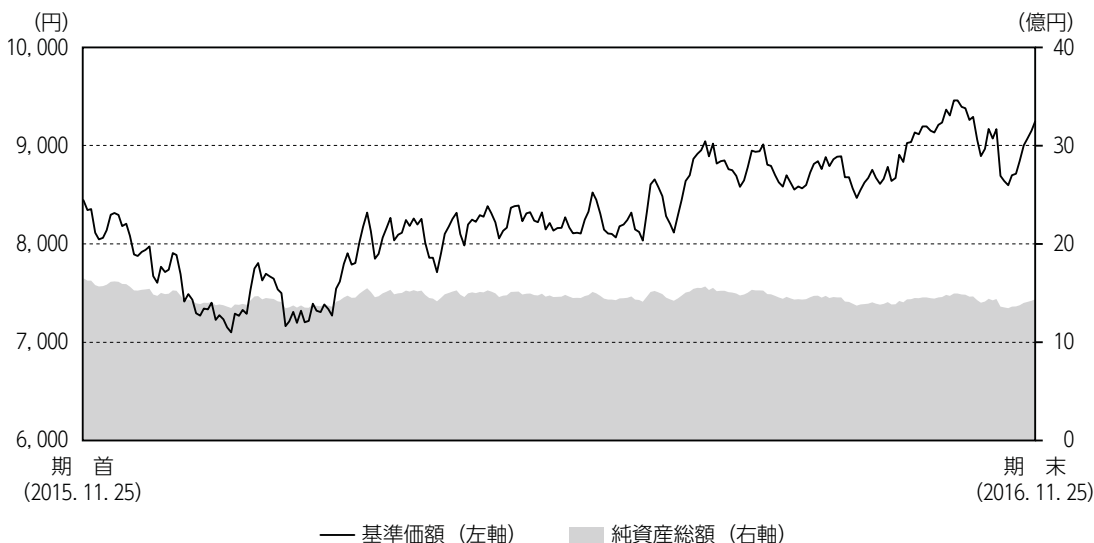
最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			ボ ベ ス パ 指 数 (配当込み、円換算)		ブラジル・レアル 為 替 レ ー ト		株 式 組 入 率	公 社 債 組 入 率	純資産 総 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
2 期 (2012年11月26日)	9,639	10	18.0	6,748	1.2	39.59	△ 2.8	32.5	61.9	4,269
3 期 (2013年11月25日)	10,450	10	8.5	6,957	3.1	44.51	12.4	32.1	61.1	3,107
4 期 (2014年11月25日)	11,397	10	9.2	7,608	9.3	46.38	4.2	30.0	64.3	2,566
5 期 (2015年11月25日)	8,447	10	△ 25.8	4,730	△ 37.8	33.09	△ 28.7	28.0	66.8	1,650
6 期 (2016年11月25日)	9,239	10	9.5	6,087	28.7	33.49	1.2	27.8	66.0	1,435

- (注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注 2) ポベスパ指数（配当込み、円換算）は、ポベスパ指数（配当込み、ブラジル・レアルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を 10,000 として大和投資信託が計算したものです。
- (注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。
- (注 5) 株式組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注 6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



（注）期末の基準価額は分配金込みです。

■基準価額・騰落率

期 首：8,447円

期 末：9,239円（分配金10円）

騰落率：9.5%（分配金込み）

■組入ファンドの当期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
ダイワ・ブラジル中小型株式マザーファンド	0.8%

■基準価額の主な変動要因

ブラジル国債およびブラジル株式に投資した結果、ブラジル株式およびブラジル・リアル為替レート（対円）が上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ツインアクセル（ブラジル国債&ブラジル中小型株式）《2017-01》

年 月 日	基 準 価 額		ボ ベ ス パ 指 数 (配当込み、円換算)		ブラジル・リアル 為 替 レ ー ト		株 式 組 入 比 率	公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率		(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期 首) 2015年11月25日	円	%		%	円	%	%	%
	8,447	—	4,730	—	33.09	—	28.0	66.8
11月末	8,116	△ 3.9	4,336	△ 8.3	31.93	△ 3.5	27.8	67.0
12月末	7,889	△ 6.6	4,030	△ 14.8	31.18	△ 5.8	25.2	66.2
2016年 1 月末	7,530	△ 10.9	3,397	△ 28.2	29.70	△ 10.2	25.6	70.4
2 月末	7,337	△ 13.1	3,498	△ 26.0	28.41	△ 14.1	26.2	68.2
3 月末	8,260	△ 2.2	4,741	0.2	31.25	△ 5.6	27.5	67.7
4 月末	8,315	△ 1.6	5,016	6.0	31.10	△ 6.0	27.7	68.3
5 月末	8,272	△ 2.1	4,504	△ 4.8	31.07	△ 6.1	27.0	67.8
6 月末	8,606	1.9	4,823	2.0	31.94	△ 3.5	27.7	67.4
7 月末	8,761	3.7	5,315	12.4	31.68	△ 4.3	29.1	68.0
8 月末	8,815	4.4	5,521	16.7	31.84	△ 3.8	28.7	67.0
9 月末	8,643	2.3	5,357	13.3	31.01	△ 6.3	28.9	66.3
10月末	9,264	9.7	6,231	31.7	32.73	△ 1.1	29.6	65.2
(期 末) 2016年11月25日	9,249	9.5	6,087	28.7	33.49	1.2	27.8	66.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○ブラジル債券市況

ブラジル債券金利は低下しました。期の前半は、ルセフ大統領が停職となり、テメル副大統領が暫定的に大統領となったことで、改革期待が高まりました。テメル政権では、財政再建目標を提示し、年金制度や社会政策の改革に取り組んで歳出を抑える意向を示したことが、金利低下の材料となりました。また、中央銀行がインフレ抑制に積極的な姿勢を示したことから、中長期の年限の債券は堅調に推移しました。期の後半は、政府の歳出の伸び率をインフレ率の伸び率以下に抑える歳出削減策が下院で可決されたことなどが好感されました。また、インフレ率が低下傾向にあったことや、中央銀行が利下げを実施したことなどが金利低下の材料となりました。しかし、米国の大統領選挙においてトランプ氏が勝利すると、同氏の政策が財政赤字の拡大やインフレの加速をもたらすとの観測から、世界的に金利が上昇しました。また、米ドル高観測により新興国市場の資金流出懸念が高まったことや、米国のインフレ期待が上昇する中で米国の利上げ観測が強まったことなどがブラジルの金利が上昇する材料となりました。

○ブラジル株式市況

ブラジル株式市況は、期首から、石油会社をめぐる汚職事件や政治に対する懸念、ブラジル中央銀行の利上げ観測、原油価格の下落、中国景気の減速懸念などを背景に、下落基調となりました。しかし2016年2月以降は、日銀のマイナス金利政策導入、中国景気の減速懸念の後退、商品価格の反発などを背景に、上昇基調となりました。3月以降も、ルセフ大統領の弾劾による政権交代への期待が高まったことから続伸しました。5月にテメル暫定政権が発足した後は、ブラジルの景気動向への懸念や米国の利上げ観測に加えて、相次ぐ閣僚の辞任などを受けて上値の重い展開となりました。その後、7月以降は米国の利上げ先送り観測が新興国市場への追い風になったこと、ブラジルの景気見通しが改善したこと、ルセフ大統領の弾劾成立への期待などから、再び上昇基調となりました。8月のテメル新大統領の正式就任後も、財政再建に対する期待から続伸しました。11月に入ると、米国大統領選挙でトランプ氏が勝利し米国の金利が上昇したため、上昇幅を縮小させましたが、期首比では大きく上昇しました。

○為替相場

ブラジル・レアルの対円為替相場は上昇しました。期の前半は、政権交代による改革期待が高まったことやF R B（米国連邦準備制度理事会）による利上げ観測が後退したことがレアル高要因となりました。また、英国のE U（欧州連合）離脱懸念により売られる局面もありましたが、過度な懸念が和らぐに連れ、レアルも買い戻されました。期の後半は、米国の利上げ見通しにより上下に振れる局面もありました。また、財政健全化への期待が上昇要因となりました。O P E C（石油輸出国機構）

の非公式会合での減産合意の見通しにより原油価格が強含んだことも、レアルを支える要因となりました。また、米国の大統領選挙においてトランプ氏が勝利すると、同氏の経済政策への期待感などから市場のリスク選好度が強まり、円安が進展しました。米ドル高観測により新興国市場の資金流出懸念が高まったことや、米国のインフレ期待が上昇する中で米国の利上げ観測が強まったことなどはレアルの下落材料となりました。

前期における「今後の運用方針」

○当ファンド

今後も現在保有しているブラジル国債とダイワ・ブラジル中小型株式マザーファンドの受益証券の組み入れを継続し、期中の解約に対しては、ブラジル国債と株式等（マザーファンド）への投資比率が、おおむね変化しないように対応する方針です。なおブラジル国債については、引き続き償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債（クーポン10%、2017年1月償還）の保有を継続し、債券利金についても同じ債券に再投資します。

○ダイワ・ブラジル中小型株式マザーファンド

経済情勢や業界動向等の分析を行なうとともに、個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等を総合的に勘案してポートフォリオを構築します。なお、外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、イタウ・ユニバンコ銀行の運用部門であるイタウ・アセットマネジメントの助言を受けます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

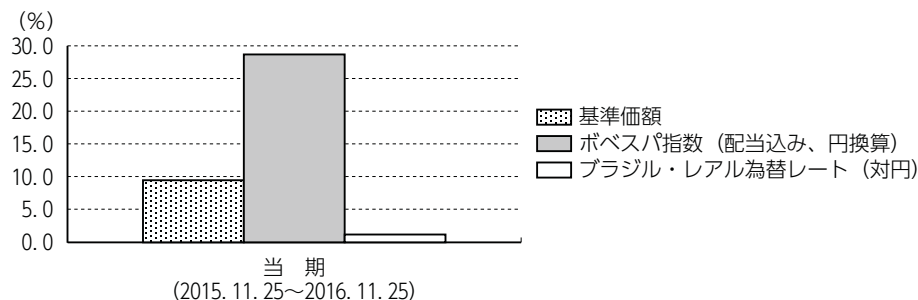
期中の解約に対して、ブラジル国債とダイワ・ブラジル中小型株式マザーファンドへの投資比率が、おおむね変化しないように対応しました。

○ダイワ・ブラジル中小型株式マザーファンド

経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築しました。個別銘柄では、穀物の下落から業績改善が見込まれた食品加工のBRF（生活必需品）やエタノール価格の上昇期待からCOSAN SA INDUSTRIA COMERCIO（エネルギー）を買い付けました。一方、業績成長見通しに不透明感が台頭したULTRAPAR PARTICIPACOES SAの保有ウエートを引き下げました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は10円といたしました。
収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2015年11月26日 ～2016年11月25日	
当期分配金（税込み）（円）	10	
対基準価額比率（％）	0.11	
当期の収益（円）	10	
当期の収益以外（円）	—	
翌期繰越分配対象額（円）	2,906	

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	573.01円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	0.82
(d) 分配準備積立金	2,342.30
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	2,916.14
(f) 分配金	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	2,906.14

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

今後も、現在保有しているブラジル国債とダイワ・ブラジル中小型株式マザーファンドの受益証券の組み入れを継続し、期中の解約に対しては、ブラジル国債と株式等（マザーファンド）への投資比率が、おおむね変化しないように対応する方針です。なおブラジル国債については、引き続き償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債（クーポン10%、2017年1月償還）の保有を継続し、債券利金についても同じ債券に再投資します。

○ダイワ・ブラジル中小型株式マザーファンド

経済情勢や業界動向等の分析を行なうとともに、個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等を総合的に勘案してポートフォリオを構築します。なお、外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、イタウ・ユニバンコ銀行の運用部門であるイタウ・アセットマネジメントの助言を受けます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2015. 11. 26～2016. 11. 25)		
	金 額	比 率	
信託報酬	148円	1.782%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8,292円です。
(投信会社)	(63)	(0.756)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(81)	(0.972)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(4)	(0.054)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	9	0.109	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数
(株式)	(9)	(0.109)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	1	0.011	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株式)	(1)	(0.011)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	22	0.269	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(21)	(0.254)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(1)	(0.008)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	180	2.172	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

区 分	額面金額	当 期 末						
		評 価 額		組入比率	うちB B格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
		千円	千円	%	%	%	%	%
ブラジル	千ブラジル・レアル 28,400	千ブラジル・レアル 28,290	千円 947,454	66.0	66.0	—	—	66.0

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注 2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注 3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
					千円	千円	
ブラジル	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F	国債証券	10.0000	28,400	28,290	947,454	2017/01/01

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注 2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(3)親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千円	千円	千円
ダイワ・ブラジル 中小型株式マザーファンド	691,091	589,420	409,647

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年11月25日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	947,454	65.3
ダイワ・ブラジル中小型株式マザーファンド	409,647	28.2
コール・ローン等、その他	94,415	6.5
投資信託財産総額	1,451,517	100.0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月25日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝113.78円、1ブラジル・レアル＝33.49円です。
(注 3) 当期末における外貨建純資産（1,007,484千円）の投資信託財産総額（1,451,517千円）に対する比率は、69.4%です。
ダイワ・ブラジル中小型株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（405,740千円）の投資信託財産総額（409,631千円）に対する比率は、99.1%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年11月25日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	1,451,517,093円
コール・ローン等	56,124,312
公社債（評価額）	947,454,203
ダイワ・ブラジル中小型株式マザーファンド（評価額）	409,647,248
未収利息	38,217,966
前払費用	73,364
(B)負債	15,547,851
未払収益分配金	1,554,309
未払解約金	900,400
未払信託報酬	13,033,985
その他未払費用	59,157
(C)純資産総額（A－B）	1,435,969,242
元本	1,554,309,299
次期繰越損益金	△ 118,340,057
(D)受益権総口数	1,554,309,299口
1万口当り基準価額（C／D）	9,239円

*期首における元本額は1,954,372,460円、当期中における追加設定元本額は232,344円、同解約元本額は400,295,505円です。
*当期末の計算口数当りの純資産額は9,239円です。
*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は118,340,057円です。

■損益の状況

当期 自2015年11月26日 至2016年11月25日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	98, 263, 146円
受取利息	96, 789, 072
その他収益金	1, 480, 795
支払利息	△ 6, 721
(B) 有価証券売買損益	54, 237, 369
売買益	66, 599, 152
売買損	△ 12, 361, 783
(C) 信託報酬等	△ 27, 849, 199
(D) 当期損益金 (A + B + C)	124, 651, 316
(E) 前期繰越損益金	△ 240, 645, 548
(F) 追加信託差損益金	△ 791, 516
(配当等相当額)	(128, 386)
(売買損益相当額)	(△ 919, 902)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 116, 785, 748
(H) 収益分配金	△ 1, 554, 309
次期繰越損益金 (G + H)	△ 118, 340, 057
追加信託差損益金	△ 791, 516
(配当等相当額)	(128, 386)
(売買損益相当額)	(△ 919, 902)
分配準備積立金	451, 576, 463
繰越損益金	△ 569, 125, 004

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	89, 063, 547円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	128, 386
(d) 分配準備積立金	364, 067, 225
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	453, 259, 158
(f) 分配金	1, 554, 309
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	451, 704, 849
(h) 受益権総口数	1, 554, 309, 299口

- (注 1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注 3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。
- (注 4) 投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：3, 589, 075円（うち当ファンド分1, 258, 027円、うち親投資信託分2, 331, 048円）（未監査）

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	10円

- ＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、11月25日現在の基準価額（1万口当り9,239円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

ダイワ・ブラジル中小型株式マザーファンド

運用報告書 第6期（決算日 2016年11月25日）

（計算期間 2015年11月26日～2016年11月25日）

ダイワ・ブラジル中小型株式マザーファンドの第6期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	1. ブラジルの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（DR（預託証券）を含みます。上場予定および店頭登録予定を含みます。） 2. ブラジル企業のDR（預託証券）
運用方法	①主として、ブラジルの中小型株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）（※）に投資することにより、信託財産の成長をめざします。 ※中小型株式とは、時価総額を基準として、イタウ・アセットマネジメントが独自に分類した中型株式および小型株式をさします。 ②運用にあたっては、以下の方針を基本とします。 イ. ブラジル経済の内需拡大の恩恵を受けると期待される企業、および積極的な経営戦略による成長が期待される企業等の株式を投資対象銘柄として選定します。 ロ. 個別企業の財務状況、成長性、株価バリュエーション、流動性等を総合的に勘案してポートフォリオを構築します。 ③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、イタウ・ウニバンコ銀行の運用部門であるイタウ・アセットマネジメントの助言を受けます。 ④株式の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。 ⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	無制限

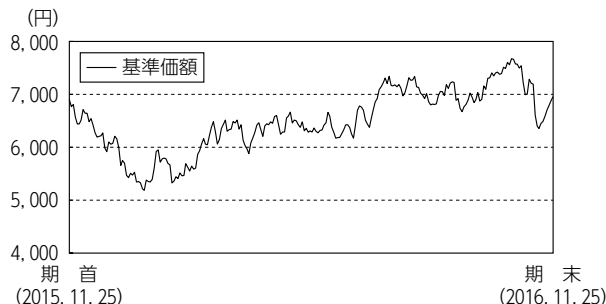
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基 準 価 額		ボベスパ指数 (配当込み、円換算)		株式組入 比 率	株式先物 比 率
	円	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %	%	%
(期 首) 2015年11月25日	6,897	—	4,730	—	97.0	—
11月末	6,569	△ 4.8	4,336	△ 8.3	97.2	—
12月末	6,158	△ 10.7	4,030	△ 14.8	91.6	—
2016年 1月末	5,606	△ 18.7	3,397	△ 28.2	97.4	—
2月末	5,584	△ 19.0	3,498	△ 26.0	97.1	—
3月末	6,511	△ 5.6	4,741	0.2	97.4	—
4月末	6,599	△ 4.3	5,016	6.0	97.3	—
5月末	6,361	△ 7.8	4,504	△ 4.8	97.0	—
6月末	6,697	△ 2.9	4,823	2.0	97.3	—
7月末	7,142	3.6	5,315	12.4	97.4	—
8月末	7,054	2.3	5,521	16.7	97.1	—
9月末	6,871	△ 0.4	5,357	13.3	97.2	—
10月末	7,496	8.7	6,231	31.7	97.1	—
(期 末) 2016年11月25日	6,950	0.8	6,087	28.7	97.4	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) ボベスパ指数(配当込み、円換算)は、ボベスパ指数(配当込み、ブラジル・リアルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：6,897円 期末：6,950円 騰落率：0.8%

【基準価額の主な変動要因】

ブラジル株式に投資した結果、基準価額は上昇しました。商品価格が反発したこと、ブラジルの政権交代への期待が高まったこと、米国の利上げ先送り観測が新興国市場への追い風になったこと、ブラジルの景気見通しが改善したことなどがブラジル株式の上昇要因となりました。また、為替相場でブラジル・リアルが円に対して上昇したこと

◆投資環境について

○ブラジル株式市況

ブラジル株式市況は、期首から、石油会社をめぐる汚職事件や政治に対する懸念、ブラジル中央銀行の利上げ観測、原油価格の下落、中国景気の減速懸念などを背景に、下落基調となりました。しかし2016年2月以降は、日銀のマイナス金利政策導入、中国景気の減速懸念の後退、商品価格の反発などを背景に、上昇基調となりました。3月以降も、ルセフ大統領の弾劾による政権交代への期待が高まったことから続伸しました。5月にテメル暫定政権が発足した後は、ブラジルの景気動向への懸念や米国の利上げ観測に加えて、相次ぐ閣僚の辞任などを受けて上値の重い展開となりました。その後、7月以降は米国の利上げ先送り観測が新興国市場への追い風になったこと、ブラジルの景気見通しが改善したこと、ルセフ大統領の弾劾成立への期待などから、再び上昇基調となりました。8月のテメル新大統領の正式就任後も、財政再建に対する期待から続伸しました。11月に入ると、米大統領選挙でトランプ氏が勝利し米国の金利が上昇したため、上昇幅を縮小させましたが、期首比では大きく上昇しました。

○為替相場

ブラジル・リアルは対円で上昇しました。期首から、中国経済の不透明感や原油価格の下落などによりリスク回避の姿勢が強まり、新興国・資源国通貨に下落圧力がかけられました。しかし2016年3月以降は、原油価格が底打ちし株式市況が上昇するなどリスク回避姿勢が和らいだことや、ルセフ大統領の弾劾手続きが進展したことがレアルの上昇要因になりました。その後は、原油価格が堅調に推移したことや、政権交代への期待が高まったこと、ブラジル景気の見通しが改善したことなどがレアルの上昇要因になりました。11月に入り、米大統領選挙でトランプ氏が勝利したことを受けて、新興国通貨に対する売り圧力が強まり、上昇幅を縮小させる場面もありましたが、期首比では上昇しました。

◆前期における「今後の運用方針」

経済情勢や業界動向等の分析を行なうとともに、個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等を総合的に勘案してポートフォリオを構築します。なお、外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント(アメリカ)リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。ダイワ・アセット・マネジメント(アメリカ)リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、イタウ・ウニバンコ銀行の運用部門であるイタウ・アセット・マネジメントの助言を受けます。

◆ポートフォリオについて

経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築しました。個別銘柄では、穀物の下落から業績改善が見込まれた食品加工のBRF(生活必需品)やエタノール価格の上昇期待からCOSAN SA INDUSTRIA COMERCIO(エネルギー)を買回し付けました。一方、業績成長見通しに不透明感が台頭したULTRAPAR PARTICIPACOES SA(エネルギー)の保有ウエートを引き下げました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

経済情勢や業界動向等の分析を行なうとともに、個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等を総合的に勘案してポートフォリオを構築します。なお、外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、イタウ・ウニバンコ銀行の運用部門であるイタウ・アセットマネジメントの助言を受けます。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	25円 (25)
有価証券取引税 (株式)	3 (3)
その他費用 (保管費用) (その他)	35 (33) (2)
合 計	63

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注 2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

株 式 (2015年11月26日から2016年11月25日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 1, 158 (—)	千アメリカ・ドル 1, 080 (—)	百株 775	千アメリカ・ドル 521
	ブラジル	百株 10, 097 (△ 308. 81)	千ブラジル・レアル 13, 238 (△ 666)	百株 10, 899	千ブラジル・レアル 16, 158

(注 1) 金額は受渡し代金。

(注 2) () 内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 3) 金額の単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

株 式 (2015年11月26日から2016年11月25日まで)

当 期				期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
BRF SA-ADR (ブラジル)	千株 27. 7	千円 42, 840	円 1, 546	BM&FBOVESPA SA (ブラジル)	千株 71	千円 36, 694	円 516
BM&FBOVESPA SA (ブラジル)	71	22, 761	320	ULTRAPAR PARTICIPACOES SA (ブラジル)	16. 9	34, 674	2, 051
COSAN SA INDUSTRIA COMERCIO (ブラジル)	16. 8	17, 261	1, 027	LOJAS AMERICANAS SA-PREF (ブラジル)	32. 8	19, 049	580
IOCHPE-MAXION S. A. (ブラジル)	31. 1	15, 205	488	SUL AMERICA SA - UNITS (ブラジル)	36. 5	18, 092	495
MRV ENGENHARIA (ブラジル)	39. 8	15, 067	378	SAO MARTINHO SA (ブラジル)	11. 2	17, 287	1, 543
KROTON EDUCACIONAL SA (ブラジル)	29	15, 033	518	CETIP SA-MERCADOS ORGANIZADO (ブラジル)	12. 6	16, 495	1, 309
LOJAS AMERICANAS SA-PREF (ブラジル)	32. 8	14, 865	453	SUZANO PAPEL E CELULO-PREF A (ブラジル)	42. 1	16, 398	389
LOCALIZA RENT A CAR (ブラジル)	11	14, 669	1, 333	CCR SA (ブラジル)	30	16, 262	542
RUMO LOGISTICA OPERADORA MUL (ブラジル)	68. 4	14, 539	212	FIBRIA CELULOSE SA-SPON ADR (ブラジル)	15. 4	15, 575	1, 011
CVC BRASIL OPERADORA E AGENC (ブラジル)	18. 4	13, 945	757	MARCOPOLO SA-PREF (ブラジル)	191. 5	14, 748	77

(注 1) 金額は受渡し代金。

(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
外国株式

銘 柄	期 首		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		百株	百株	千アメリカ・ドル	千円
BRASKEM SA-SPON ADR	—	35	55	6,335	素材
BRF SA-ADR	—	263	412	46,891	生活必需品
CIA SANEAMENTO BASICO DE-ADR	—	106	92	10,468	公益事業
EMBRAER SA-SPON ADR	38	30	59	6,731	資本財・サービス
FIBRIA CELULOSE SA-SPON ADR	154	69	61	6,947	素材
CIA PARANAENSE ENER-SP ADR P	—	44	38	4,335	公益事業
CIA BRASILEIRA DE DIS-SP PRF	—	28	44	5,106	生活必需品
アメリカ・ドル 株数、金額	192	575	763	86,817	
通 貨 計 銘柄数<比率>	2銘柄	7銘柄		<21.2%>	
(ブラジル)		百株	百株	千ブラジル・レアル	千円
RUMO LOGISTICA OPERADORA MUL	—	669	412	13,823	資本財・サービス
FPC PAR CORRETORA DE SEGUROS	—	92	128	4,316	金融
CVC BRASIL OPERADORA E AGENC	—	100	234	7,836	一般消費・サービス
FLEURY SA	—	81	313	10,484	ヘルスケア
ALLIAR MEDICOS A FRENTE SA	—	23	38	1,294	ヘルスケア
BRADESPAR SA - PREF	360	70	105	3,549	素材
COSAN SA INDUSTRIA COMERCIO	—	122	462	15,493	エネルギー
METALURGICA GERDAU SA-PREF	—	725	424	14,203	素材
CYRELA BRAZIL REALTY SA EMP	—	128	114	3,823	一般消費・サービス
CIA ENERGETICA DE SP-PREF B	260	—	—	—	公益事業
CIA DE TRANSMISSAO DE ENE-PF	62	42	267	8,945	公益事業
JBS SA	320	368	361	12,114	生活必需品
SUZANO PAPEL E CELULO-PREF A	341	107	135	4,543	素材
BANCO ESTADO RIO GRAN-PREF B	—	158	185	6,222	金融
MARFRIG GLOBAL FOODS SA	425	—	—	—	生活必需品
MRV ENGENHARIA	—	165	189	6,332	一般消費・サービス
EDP - ENERGIAS DO BRASIL SA	435	90	127	4,264	公益事業
HYPERMARCAS SA	—	92	236	7,906	生活必需品
EQUATORIAL ENERGIA SA - ORD	86	38	196	6,579	公益事業
GUARARAPES CONFECÇOES SA	26	—	—	—	一般消費・サービス
IOCHPE-MAXION S. A.	—	145	195	6,555	資本財・サービス
MARCOPOLO SA-PREF	750	—	—	—	資本財・サービス
WEG SA	301	180	282	9,464	資本財・サービス
SUL AMERICA SA - UNITS	365	135	251	8,427	金融
MINERVA SA	443	235	279	9,373	生活必需品
MARCOPOLO SA PR-RTS	—	19.19	0	5	その他
RAIA DROGASIL SA	129.19	60.19	390	13,074	生活必需品
SAO MARTINHO SA	131	53	288	9,655	生活必需品
TOTVS SA	178	145	339	11,368	情報技術
ODONTOPREV S. A.	429	292	329	11,021	ヘルスケア

銘	柄	期 首		当 期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
		百株	百株	千ブラジル・レアル	千円	
AREZZO INDUSTRIA E COMERCIO		—	85	238	7,984	一般消費・サービス
CETIP SA-MERCADOS ORGANIZADO		91	—	—	—	金融
ALPARGATAS SA - PREF		236.3	425.3	401	13,459	一般消費・サービス
MAHLE-METAL LEVE SA		196	62	127	4,254	一般消費・サービス
QUALICORP SA		—	92	163	5,459	ヘルスケア
KLABIN SA - UNIT		69	132	217	7,294	素材
ULTRAPAR PARTICIPACOES SA		268	133	931	31,179	エネルギー
MULTIPLUS SA		133	—	—	—	一般消費・サービス
KROTON EDUCACIONAL SA		—	290	419	14,043	一般消費・サービス
SLC AGRICOLA SA		289	—	—	—	生活必需品
SMILES SA		—	41	189	6,357	一般消費・サービス
SOMOS EDUCACAO SA		478	—	—	—	一般消費・サービス
BANCO ABC BRASIL SA		—	177	245	8,209	金融
VALID SOLUCOES SA		121	40	96	3,216	資本財・サービス
ブラジル・レアル	株数、金額	6,922.49	5,811.68	9,320	312,140	
通 貨 計	銘柄数 <比率>	26銘柄	36銘柄		<76.2%>	
ファン ド	株数、金額	7,114.49	6,386.68	—	398,957	
合 計	銘柄数 <比率>	28銘柄	43銘柄		<97.4%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・ブラジル中小型株式マザーファンド

■投資信託財産の構成

2016年11月25日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	398,957	97.4
コール・ローン等、その他	10,673	2.6
投資信託財産総額	409,631	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月25日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝113.78円、1ブラジル・レアル＝33.49円です。
(注3) 当期末における外貨建純資産(405,740千円)の投資信託財産総額(409,631千円)に対する比率は、99.1%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年11月25日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	409,631,234円
コール・ローン等	9,411,373
株式(評価額)	398,957,922
未収配当金	1,261,939
(B)負債	—
(C)純資産総額(A－B)	409,631,234
元本	589,420,502
次期繰越損益金	△ 179,789,268
(D)受益権総口数	589,420,502口
1万口当り基準価額(C／D)	6,950円

* 期首における元本額は691,091,296円、当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は101,670,794円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ツインアクセル(ブラジル国債&ブラジル中小型株式)≪2017-01≫589,420,502円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は6,950円です。
* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は179,789,268円です。

■損益の状況

当期 自2015年11月26日 至2016年11月25日

項 目	当 期
(A)配当等収益	12,784,958円
受取配当金	12,782,951
受取利息	3,474
支払利息	△ 1,467
(B)有価証券売買損益	△ 10,542,838
売買益	85,699,216
売買損	△ 96,242,054
(C)その他費用	△ 2,251,797
(D)当期損益金(A＋B＋C)	△ 9,677
(E)前期繰越損益金	△ 214,450,385
(F)解約差損益金	34,670,794
(G)合計(D＋E＋F)	△ 179,789,268
次期繰越損益金(G)	△ 179,789,268

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。